

平成 30 年度全国学力・学習状況調査の結果について

毎年 4 月に 6 年生を対象として全国学力・学習状況調査が実施されています。その結果が返ってきましたのでお知らせいたします。

1 平均正答率・正答数

		国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	理科
明城小	正答率(%)	64	47	55	45	53
	正答数	7.7/12 問	3.8/8 問	7.7/14 問	4.5/10 問	8.4/16 問
全 国	正答率(%)	71	55	64	52	60
	正答数	8.5/12 問	4.4/8 問	8.9/14 問	5.1/10 問	9.6/16 問
全国と の差	正答率(%)	-7	-8	-9	-7	-7
	正答数	-0.8	-0.6	-1.2	-0.6	-1.2

全国との正答率の差は昨年度と比較して少し広がっています。正答数の差を見るとだいたい 1 問程度の差になります。

2 正答率の低い出題の趣旨（正答率 40%以下のもの）

〔国語 A〕

- ・文中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く（正答率 19.8%）
- ・相手や場面に応じて適切に敬語を使う（正答率 39.6%）

〔国語 B〕

- ・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる（正答率 23.1%）
- ・目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く（正答率 7.7%）
- ・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む（正答率 33.0%）

〔算数 A〕

- ・小数の割り算の式の意味を正しく理解している（正答率 31.9%）
- ・面積と人数のどちらを基準にしても混みぐあいと比べることができる（正答率 34.1%）
- ・半径や直径と円周の長さの関係から円周率を求める式を考えることができる（正答率 38.5%）

〔算数 B〕

- ・図形の名称や角度を基に、集まった角の大きさの和が  $360^\circ$  になっていることを言葉や式を使って表すことができる（正答率 33.7%）
- ・示された言葉の式から、ほかの場合を整理し、条件に合う時間を判断することができる（正答率 39.1%）
- ・総数や変化に着目して、グラフの情報を正しく読み取ることができる（正答率 12.0%）
- ・棒グラフと帯グラフの情報を正しく読み取ることができる（正答率 25.5%）
- ・指定された数で足りる理由を、示された数量を関連付け根拠を明確にして言葉や式で説明できる（正答率 31.5%）

〔理科〕

- ・実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述できる（正答率 16.3%）
- ・電流の流れ方について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できる（正答率 37.0%）

- ・太陽の1日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を目的に合ったものづくりに適用できる（正答率 31.5%）
- ・物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用できる（正答率 23.9%）
- ・実験結果から言えることを正しく記述できる（正答率 22.8%）

### 3 児童質問紙

#### [全国との比較で良いもの]

- ・自分にはよいところが有り自分の夢を持っている。
- ・同じぐらいの時間に起床し、朝食は取れている。
- ・算数は社会に出たときには役立つと思っている。
- ・算数の問題を解こうとする意欲はある。
- ・観察や実験からどのようなことがわかったかを考え、進め方や考え方が間違っていないかを考えている。

#### [全国との比較で注意のいるもの]

- ・自分で計画を立てて勉強したり、学校の授業の予習・復習をしていない。
- ・読書を全くしない児童が多い。
- ・算数の問題がわからないとすぐにあきらめる。
- ・算数の問題を解くときに他の方法を考えない。
- ・今、社会のことがらや自然のことがらに、関心を持っている児童が少ない。

### 4 学校の取り組みとご家庭での協力をお願い

#### [学校として取り組んでいくこと]

- ・放課後学習の充実

毎週火・金の放課後に実施します。

授業中に理解しきれなかった児童に対してそのままにせず、放課後学習の時間を活用し、理解させるようにします。また、他の学年の学習内容においても理解していないものがあるときには、その学習をさせます。

- ・宿題の徹底

繰り返しの学習や練習を中心に行います。

家庭学習の習慣を付けることを考え、宿題のできていない児童を把握し、できていない児童については最後まで取り組ませます。できない内容のものがある場合には放課後学習等を活用し取り組ませます。

- ・授業改善

新しい学習指導要領に対応する指導力向上のため校内での研修を充実させます。

研修があるときには最小限の授業カットを行うことがあります。ご理解のほどよろしく願いいたします。

#### [ご家庭で協力していただきたいこと]

- ・家で勉強をしている姿を見てあげてください。
- ・ゲーム等の時間など家庭でのルールを作ってください。
- ・ニュースや本を読む機会を作ってください。

確かな学力を育てていくためには、計画的に継続的に取り組んでいくことが大切です。学校・家庭が両輪となって子ども達を支えていくことを目指していきたいと思います。